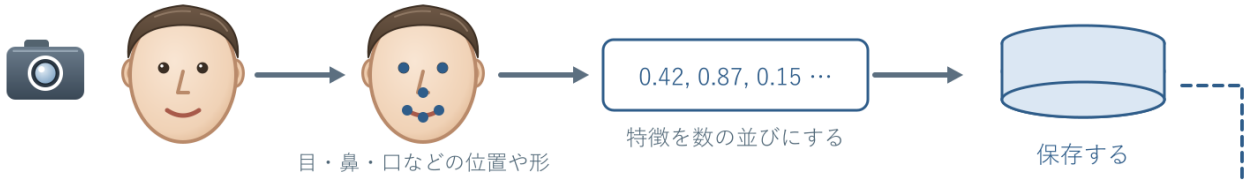
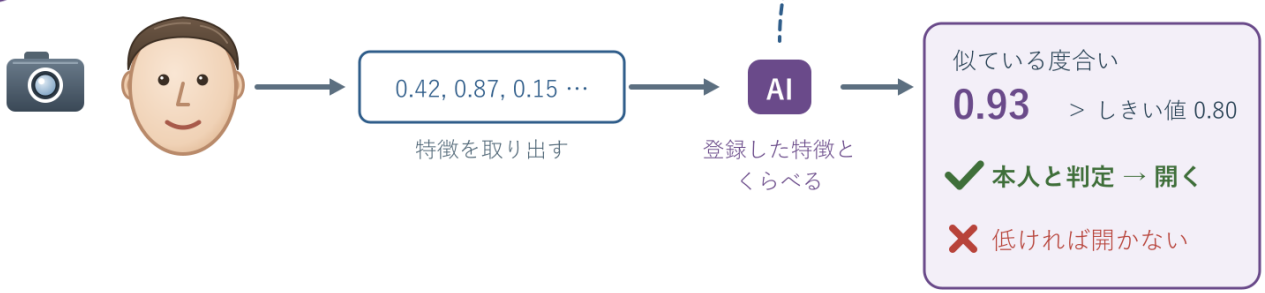
顔認証のしくみ（本人かどうかを見分ける）

顔認証は、どのようにして本人かどうかを確かめるのだろう

1 登録するとき



2 使うとき（例：建物に入るゲート）



しきい値（基準）の決め方

どのくらい似ていれば本人とするかは、人が決めておく

例：0.80

低い　　高い

低くすると

別の人でも開くおそれが増える

高くすると

本人なのに開かないことが増える

気をつけること

顔のデータは個人情報

だれかを特定できるので、大切に扱う。使う目的をはっきりさせる

まちがえることもある

似ている度合いによる推測なので、見分けをまちがえることがある

人によって差が出るおそれ

学習のデータがかたよると、人によって正しく見分けられる割合に差が出ることがある

※ 数値は説明のための例。しくみは模式で、機器によって違う。